

### 第 3 節 産業廃棄物の現状と課題

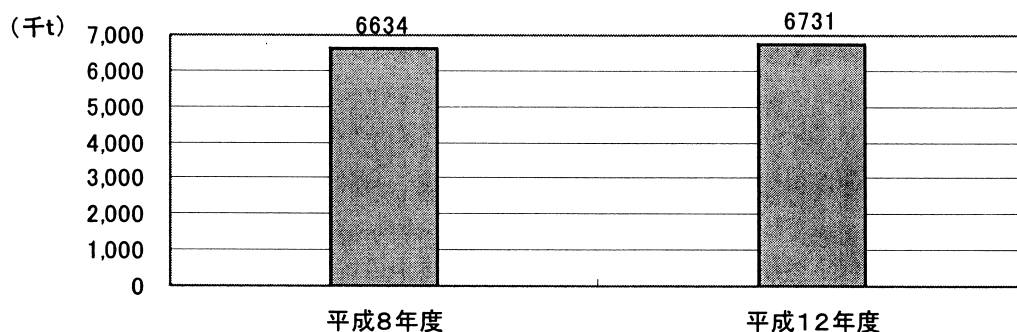
#### 1 産業廃棄物の排出・処理の状況

##### (1) 産業廃棄物の排出の状況

##### ① 種類別の排出状況

平成 1 2 年度の熊本県内の産業廃棄物の排出量は、6,731 千 t となっており、前回調査（平成 8 年度）より 97 千 t（約 1%）増加しています。

（図 2 - 1 0）排出量の推移



排出量を種類別にみると、動物のふん尿が 2,862 千 t（43%）で最も多く、以下、汚泥が 1,947 千 t（29%）、がれき類が 1,320 千 t（20%）となっています。

なお、動物のふん尿は、排出事業者等による再生利用が多く、汚泥は脱水、乾燥、焼却等の中間処理により大幅に減量化されていることから、それぞれ排出量に対し搬出量は少なくなっています。

（図 2 - 1 1）種類別排出状況（平成 1 2 年度）

